※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「精選　言語文化」　（東京書籍）						
副教材等	「新精選古典文法　三訂版」（東京書籍）　「精選漢文」（尚文出版） 「新精選古典文法　準拠ノート　改訂版」（東京書籍） 「みるみる覚える古文単語 300＋敬語 30　三訂版」（いいずな書店） 「みるみる覚える古文単語 300＋敬語 30　準拠　みるみるノート　三訂版」（いいずな書店） 「正しく読み・解くための力をつける　言語文化」（数研出版） 「カラー版　新国語便覧」（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

限られた時間の中で知識を定着させていくために、予習復習は必須です。また、授業で使用するノートについては板書を書き写すだけではなく、授業のポイントや自身で気付いたこと、クラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。
考査だけでなく、定期的に行う小テストや、日々の授業を一回一回大切に取り組んでください。
宿題や予習・復習といった授業に関することだけではなく、知らない言葉を見かけたら辞書を引き、興味のある内容について書かれた本を読むという習慣をつけてください。それを通して、自ら学ぶ方法やその力をつけていきましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2)　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古文にふれよう ［教材］『宇治拾遺物語』「児のそら寝」	a：歴史的仮名遣いについて十分理解し、辞書などを引きながら自ら進んで古語を学習することができている。 b[読]：主語の変わり目を正確にとらえ、児が寝たふりをした理由と僧たちの心情について根拠をもって理解できている。 c：積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、根拠立てて自分の考えを説明しようとしている。	ノート 定期考査	ノート ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	漢文について知ろう ［教材］ 訓読の基本	a：送り仮名の原則や主な返り点の決まりについて理解している。 b[読]：訓点に従い、置き字や再読文字、返読文字の用法に注意しながら、漢文を正しく書き下し文に改めている。 c：返り点や書き下し文の決まりに則って、漢文を書き下し文に改める練習を繰り返し行っている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ノート ワークシート
	古文の物語を読もう ［教材］『今鏡』「用光と白波」	a：重要古語の意味を理解している。 b[読]：白波に襲われた時の用光の心理やその時の行動の意図を、描写に注目しながら的確に読み取っている。 c：重要古語の意味を、古語辞典を用いて調べている。	ノート 定期考査	ノート ワークシート 定期考査	ノート 振り返りシート
	随筆を読もう1 ［教材］『徒然草』「ある人、弓射ることを習ふに」	a：言葉のまとまりを的確に押さえて、全文を正しく音読している。 b[書]：「読むこと」「弓射ることを習ふ」ことと「道を学する」ことを対応させて理解し、作者の考えを的確に捉え、説明している。 c：周りの意見に耳を傾けながら、積極的に話し合っている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	故事成語の成り立ちを知ろう ［教材］「助長」「推敲」	a：漢文に特有の語や、助字について、その読みと意味を理解している。 b[話/聞]：故事成語とその成り立ち理解し、順序だてて説明している。 c：範読を参考にして、積極的に音読している。	ノート 小テスト 定期考査	発表 定期考査	発表 振り返りシート
二学期	「ことば」について考えよう ［教材］『言葉を届ける』	a：作品読解や恋愛をテーマに詠まれた短歌とそれに対する筆者の見解に注意して読むことができている。 b[書]：それぞれの短歌に詠まれた愛の在り方について合理的に説明している。 c：作品の内容を踏まえて、「愛を終えたことのある者にとっての普遍的な願い」とは何かを独自の視点で考えている。	ノート 定期考査	ワークシート 小テスト	ワークシート 振り返りシート
	歌物語を読もう	a：歌物語における和歌の役割を理解している。	ノート ワークシート	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	［教材］『伊勢物語』「芥川」「筒井筒」	b[読]：登場人物の心理の推移の描写を丁寧にたどり、心情を読み取っている。 c：「伊勢物語」全体の構成・内容について関心を持ち、調べている。	定期考査		
	和歌を読もう1 ［教材］『万葉集』	a：各歌を句切れに注意して正しく音読している。 b[読]：和歌に詠み込まれた作者の心情を的確に読み取っている。 c：句切れに注意しながら、積極的に音読している。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	史話を読もう ［教材］「管鮑之交」「臥薪嘗胆」	a：漢文に特有の語や受身形などの基本的な句形について、その読みと意味を理解している。また、漢文に特有の構文について理解している。 b[読]：脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 c：本文中の語句の意味を漢和辞典を用いて調べている。	ノート 小テスト 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
	近代の小説を読もう ［教材］『羅生門』	a：老婆に対する比喩表現など、特色ある表現の意味と効果を理解している。 b[書]：下人の心理と行動の変化を的確に読み取り、説明している。 c：本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	随筆を読もう2 ［教材］『方丈記』「ゆく河の流れ」	a：和漢混交文を理解し、対句になっている箇所を正確に理解できている。 b[話/聞]：内容を正確に読み取っている。 c：鴨長明が考える無常観について自分が感じ取ってことを発表している。	ノート 小テスト 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
	論語を読もう ［教材］『論語』	a：漢文に特有の語や基本的な句形について、その読みと意味を理解している。また、漢文に特有の構文について理解している。 b[読]：指示語の対象や語句の対応関係に注意して、内容を的確に捉えている。 c：孔子の理想とする学問のあり方について、積極的に話し合いながら考えを深めている。	ノート 定期考査	ノート ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
三学期	軍記物語を読もう ［教材］『平家物語』「木曽の最期」	a：敬語表現の種類や用法について理解している。 b[読]：登場人物の心情を話の展開に即して的確に読み取り、木曽義仲と巴の結びつき、義仲と今井四郎の結びつきとを、比較・対照しながら理解している。 c：武士の装束、武具と戦のありさまなどについて関心を持ち、調べている。	ノート ワークシート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
	和歌を読もう2 ［教材］『古今和歌集』 『新古今和歌集』	a：和歌の修辞技法を理解している。 b[話/聞]：各和歌集の歌風を作品に即して理解し、説明している。 c：歌人の略歴や作風・代表歌、勅撰和歌集の歴史などについて、積極的に調べたり発表したりしている。	ノート ワークシート 定期考査	発表 ワークシート 定期考査	ワークシート 発表 振り返りシート
	漢詩を読もう	a：各詩の詩形・押韻・対句などを正確に理解している。 b[読]：漢詩のリズムを意識しながら、正確	ノート ワークシート	ノート 発表	ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	［教材］漢詩	に音読している。 c：押韻・対句、語句の意味などを漢和辞典を活用して調べている。	小テスト 定期考査		
	現代の小説を読もう	a：作品に登場する「僕」の心理状態が読み取り、意味を文脈の中で正確に理解することができている。 b[書]：本文で取り上げられている「恐怖」について自分の考えをまとめることができる。 c：「鏡」という題名や「僕」が体験したことから「恐怖」について考える話し合いに積極的に参加することができている。	ノート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	［教材］『鏡』				

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　５５　）時間